

2025年10月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年12月15日

上場会社名 株式会社キャストリコ 上場取引所 東
コード番号 6695 URL <https://www.castrico.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 佐川 達也
問合せ先責任者（役職名） 常務取締役 企画・管理本部長（氏名） 都留 顕二 TEL 03（6910）1651
定時株主総会開催予定日 2026年1月29日 配当支払開始予定日 2026年1月30日
有価証券報告書提出予定日 2026年1月30日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年10月期の業績（2024年11月1日～2025年10月31日）

（1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年10月期	3,609	3.3	122	△60.7	131	△58.1	79	△63.0
2024年10月期	3,495	3.4	311	5.1	313	4.8	214	11.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年10月期	36.11	—	5.5	5.6	3.4
2024年10月期	97.49	—	16.6	14.0	8.9

（参考）持分法投資損益 2025年10月期 ー百万円 2024年10月期 ー百万円

（注1）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年10月期	2,381	1,475	62.0	669.37
2024年10月期	2,288	1,401	61.2	635.76

（参考）自己資本 2025年10月期 1,475百万円 2024年10月期 1,401百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年10月期	487	△13	△38	702
2024年10月期	△53	△61	△172	265

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 （合計）	配当性向	純資産 配当率
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年10月期	0.00	2.50	2.50	5	2.6	0.4
2025年10月期	0.00	2.50	2.50	5	6.9	0.4
2026年10月期（予想）	—	—	—		—	

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注2）2026年10月期の配当金額は未定であります。

3. 2026年10月期の業績予想（2025年11月1日～2026年10月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	3,508	△2.8	264	116.0	268	104.6	185	133.1	84.16

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年10月期	2,264,000株	2024年10月期	2,264,000株
② 期末自己株式数	2025年10月期	60,000株	2024年10月期	60,000株
③ 期中平均株式数	2025年10月期	2,204,000株	2024年10月期	2,204,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(持分法損益等の注記)	9
(セグメント情報の注記)	9
(1株当たり情報の注記)	9
(重要な後発事象の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における世界経済は、地政学リスクの長期化やアメリカの通商政策、中国経済の停滞継続など懸念が残るものの、概ね緩やかな回復基調で推移しております。日本経済は、堅調な企業収益や持ち直しつつある個人消費、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調となっております。一方で、世界的な金融引き締めの影響や中国経済の減速懸念、原材料価格やエネルギーコストの高止まり、為替変動等、先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する半導体業界においては、デジタルトランスフォーメーション (DX) やIoT化の動きは継続しているものの、ノートパソコンや通信機器の最終需要が一巡したことにより、サプライチェーン全体で設備投資の調整局面が続いております。一方、今後は生成AI向けの演算用半導体や電気自動車 (EV) 向けのパワー半導体などの需要の伸長、また、ノートパソコンやスマートフォンなど民生品向け需要の回復など、半導体製造装置市場は中長期的に成長を続けると見込まれております。

このような経営環境下において、売上高は3,609,243千円（前事業年度比3.3%増加）、営業利益は122,654千円（同60.7%減少）、経常利益は131,380千円（同58.1%減少）、当期純利益は79,591千円（同63.0%減少）となりました。

なお、当社は、プロダクツ事業、エンジニアリング事業及びシステム事業を主体とするエレクトロニクス事業を行っており、単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は2,087,087千円で、前事業年度末に比べ76,871千円増加しております。主な増加要因は現金及び預金の増加416,155千円等、主な減少要因は仕掛品の減少300,648千円等であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は294,256千円で、前事業年度末に比べ16,065千円増加しております。主な増加要因は繰延税金資産の増加56,533千円等、主な減少要因はソフトウェアの減少23,197千円等であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は529,315千円で、前事業年度末に比べ102,278千円減少しております。主な減少要因は短期借入金の減少116,000千円、買掛金の減少57,444千円等、主な増加要因は未払消費税等の増加45,320千円等であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は376,740千円で、前事業年度末に比べ121,134千円増加しております。主な増加要因は開発費負担引当金の増加60,443千円、長期借入金の増加58,420千円であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は1,475,287千円で、前事業年度末に比べ74,081千円増加しております。当期純利益79,591千円の計上による利益剰余金の増加及び剰余金の配当5,510千円による利益剰余金の減少がその変動要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は702,072千円（前事業年度末比436,202千円増加）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は487,534千円（前年同期は53,810千円の使用）となりました。主な増加要因は棚卸資産の減少額352,442千円、税引前当期純利益の計上113,531千円、開発費負担引当金の増加額60,443千円、未払消費税等の増加額45,320千円、主な減少要因は法人税等の支払額98,898千円、仕入債務の減少額57,444千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13,019千円（前年同期は61,068千円の使用）となりました。主な減少要因は無形固定資産の取得による支出6,708千円、有形固定資産の取得による支出6,225千円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は38,312千円（前年同期は172,540千円の使用）となりました。主な減少要因は短期借入金の純減少額116,000千円、主な増加要因は長期借入れによる収入100,000千円であります。

(4) 今後の見通し

「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況」に上述した通り、自動車のエレクトロニクス化、スマートフォンやタブレット端末等のモバイル機器市場の拡大、テレワーク、オンライン学習の普及、IoT、AI、第5世代移动通信システム(5G)の進展等を背景に半導体の需要は堅調に推移することが見込まれる中で、生成AI向けの演算用半導体や電気自動車(EV)向けのパワー半導体などの需要が伸長するなど、半導体製造装置市場は中長期的に成長を続けることが予想されます。

2026年10月期の業績につきましては、売上高3,508,594千円(当事業年度比2.8%減少)、営業利益264,956千円(同116.0%増加)、経常利益268,829千円(同104.6%増加)、当期純利益185,492千円(同133.1%増加)をそれぞれ見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記
(1) 貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2024年10月31日)	当事業年度 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	296,924	713,079
受取手形	3,972	1,265
売掛金	694,624	669,363
電子記録債権	2,144	154
商品及び製品	171,606	83,334
仕掛品	539,308	238,660
原材料	307,459	343,937
前払費用	37,699	35,267
その他	884	2,025
貸倒引当金	△44,407	—
流動資産合計	2,010,216	2,087,087
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	4,085	3,913
建物附属設備 (純額)	115,818	106,081
機械及び装置 (純額)	12,568	9,426
工具、器具及び備品 (純額)	16,289	15,819
その他 (純額)	—	2,640
有形固定資産合計	148,762	137,881
無形固定資産		
ソフトウェア	24,534	1,336
その他	793	745
無形固定資産合計	25,328	2,082
投資その他の資産		
投資有価証券	2,000	2,000
長期滞留債権	—	44,407
長期前払費用	2,934	1,847
繰延税金資産	32,020	88,554
敷金	55,557	50,287
その他	11,587	11,602
貸倒引当金	—	△44,407
投資その他の資産合計	104,100	154,292
固定資産合計	278,191	294,256
資産合計	2,288,407	2,381,344

	前事業年度 (2024年10月31日)	当事業年度 (2025年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	259,452	202,008
短期借入金	116,000	—
1年内返済予定の長期借入金	14,280	39,480
未払金	161,128	168,125
未払法人税等	53,336	44,847
未払消費税等	20,257	65,577
預り金	4,971	5,658
その他	2,167	3,618
流動負債合計	631,594	529,315
固定負債		
長期借入金	250,250	308,670
開発費負担引当金	5,356	65,800
その他	—	2,270
固定負債合計	255,606	376,740
負債合計	887,200	906,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	282,480	282,480
資本剰余金		
資本準備金	182,600	182,600
その他資本剰余金	1,797	1,797
資本剰余金合計	184,397	184,397
利益剰余金		
利益準備金	8,638	9,189
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	929,211	1,002,741
利益剰余金合計	937,849	1,011,930
自己株式	△3,520	△3,520
株主資本合計	1,401,206	1,475,287
純資産合計	1,401,206	1,475,287
負債純資産合計	2,288,407	2,381,344

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年11月 1 日 至 2024年10月31日)	当事業年度 (自 2024年11月 1 日 至 2025年10月31日)
売上高	3,495,393	3,609,243
売上原価	2,572,846	2,817,081
売上総利益	922,547	792,162
販売費及び一般管理費	610,643	669,507
営業利益	311,903	122,654
営業外収益		
受取利息	36	526
受取配当金	262	2
受取賃借料	5,550	9,183
助成金収入	235	2,602
その他	2	87
営業外収益合計	6,087	12,401
営業外費用		
支払利息	4,254	2,962
その他	497	713
営業外費用合計	4,751	3,675
経常利益	313,239	131,380
特別損失		
固定資産処分損	2,512	—
減損損失	—	17,849
特別損失合計	2,512	17,849
税引前当期純利益	310,727	113,531
法人税、住民税及び事業税	103,102	90,473
法人税等調整額	△7,250	△56,533
法人税等合計	95,852	33,940
当期純利益	214,874	79,591

【売上原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2023年11月 1 日 至 2024年10月31日)		当事業年度 (自 2024年11月 1 日 至 2025年10月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 材料費及び商品売上原価		1,812,634	70.5	1,993,556	70.8
II 外注費		80,599	3.1	73,836	2.6
III 労務費		597,221	23.2	665,076	23.6
IV 経費		82,390	3.2	84,612	3.0
合計		2,572,846	100.0	2,817,081	100.0

(注) 原価計算の方法は、個別原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本									純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	
		資本 準備金	その他資 本剰余金	資本剰余 金合計	利益 準備金	その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計			
当期首残高	282,480	182,600	1,797	184,397	8,087	720,397	728,484	△3,520	1,191,842	1,191,842
当期変動額										
剰余金の配当						△5,510	△5,510		△5,510	△5,510
利益準備金の積立					551	△551	—		—	—
当期純利益						214,874	214,874		214,874	214,874
当期変動額合計	—	—	—	—	551	208,813	209,364	—	209,364	209,364
当期末残高	282,480	182,600	1,797	184,397	8,638	929,211	937,849	△3,520	1,401,206	1,401,206

当事業年度(自 2024年11月1日 至 2025年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本									純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	
		資本 準備金	その他資 本剰余金	資本剰余 金合計	利益 準備金	その他利 益剰余金	利益剰余 金合計			
						繰越利益 剰余金				
当期首残高	282, 480	182, 600	1, 797	184, 397	8, 638	929, 211	937, 849	△3, 520	1, 401, 206	1, 401, 206
当期変動額										
剰余金の配当						△5, 510	△5, 510		△5, 510	△5, 510
利益準備金の積立					551	△551	－		－	－
当期純利益						79, 591	79, 591		79, 591	79, 591
当期変動額合計	－	－	－	－	551	73, 530	74, 081	－	74, 081	74, 081
当期末残高	282, 480	182, 600	1, 797	184, 397	9, 189	1, 002, 741	1, 011, 930	△3, 520	1, 475, 287	1, 475, 287

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年11月 1 日 至 2024年10月31日)	当事業年度 (自 2024年11月 1 日 至 2025年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	310,727	113,531
減価償却費及びその他の償却費	26,634	37,730
開発費負担引当金の増減額 (△は減少)	5,356	60,443
受取利息及び受取配当金	△298	△528
支払利息	4,254	2,962
減損損失	—	17,849
売上債権の増減額 (△は増加)	△257,805	29,959
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△79,887	352,442
仕入債務の増減額 (△は減少)	118,057	△57,444
未払金の増減額 (△は減少)	33,693	6,997
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△70,541	45,320
その他	13,946	△20,363
小計	104,136	588,900
利息及び配当金の受取額	279	495
利息の支払額	△4,255	△2,962
法人税等の支払額	△153,970	△98,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	△53,810	487,534
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,135	△6,225
無形固定資産の取得による支出	△19,531	△6,708
敷金の差入による支出	△24,801	△70
その他	10,400	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,068	△13,019
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△147,000	△116,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△20,030	△16,380
配当金の支払額	△5,510	△5,510
その他	—	△422
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,540	△38,312
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△287,418	436,202
現金及び現金同等物の期首残高	553,288	265,869
現金及び現金同等物の期末残高	265,869	702,072

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(持分法損益等の注記)
当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報の注記)
当社は、プロダクツ事業、エンジニアリング事業及びシステム事業を主体とするエレクトロニクス事業を行っており、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報の注記)

項目	前事業年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)	当事業年度 (自 2024年11月1日 至 2025年10月31日)
1株当たり純資産額	635円76銭	669円37銭
1株当たり当期純利益	97円49銭	36円11銭

(注1) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
(注2) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りです。

項目	前事業年度 (2024年10月31日)	当事業年度 (2025年10月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	1,401,206	1,475,287
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	1,401,206	1,475,287
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	2,204,000	2,204,000

(注3) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りです。

項目	前事業年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)	当事業年度 (自 2024年11月1日 至 2025年10月31日)
当期純利益 (千円)	214,874	79,591
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	214,874	79,591
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,204,000	2,204,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2024年1月30日株主総会決議 の第1回新株予約権 普通株式 90,500株 同左	

(重要な後発事象の注記)
該当事項はありません。